

## 第1回中部支部夏期大学テキストの案内

### 台風の科学と防災—伊勢湾台風35周年—

B5版：50ページ

価格：1,000円

郵送料：2冊まで240円

申込先：日本気象学会中部支部（高杉）

（お申し込みは TEL または FAX でも受付けます）

TEL 052-751-5125

FAX 052-751-4642

送金方法：郵便振替（口座番号00840-0-93021）

（名称「気象学会中部夏期大学」）

又は現金書留，郵便為替

#### 内容

伊勢湾台風の教訓…………… 1  
伊藤正幸(名古屋市建設事業サービス財団技術部長)

伊勢湾台風の規模と被害／被害の特色とその要因／その後の対応／今後の対応

台風のすがた……………12

加藤内蔵進(名古屋大学大気水圏科学研究所助手)

最盛期の台風の構造／台風の発達過程／台風の移動／台風の温低化／秋雨前線と台風／台風の経年変化の一例

台風の予報……………25

高杉年且(名古屋地方気象台予報課長)

台風の实况解析／台風の予報技術／台風予報の表現方法／台風情報と被害予想／情報の伝達と受容

台風の雨と災害……………41

武田喬男(名古屋大学大気水圏科学研究所教授)

1993年の台風と水災害／台風の特徴／

水災害の特徴と1976年の災害

## 第16回関西支部夏季大学テキストの案内

### 新時代の天気予報—身近な気象とその予測—

概要：観測データから天気予報が作られ利用されるまでの流れを概観し，特に局地気象にも注目して，気象事業に関わりのある方々の参考資料としても利用できるように編集しました。

#### 目次：

気象庁のデータとその見方—きめ細かい天気予報に必要な観測データ—…………… 1

饒村 曜(神戸海洋気象台予報課長)

天気予報の実際—気象庁(国)が行う天気予報—……………17

保科正男(京都地方気象台長)

暮らしに活かす気象情報—気象情報を活かす調査の現状—……………51

陳 介臣(日本気象協会関西本部総務部長)

身近な気象を探る—風はどのように吹くか—……………67

森 征洋(香川大学教育学部教授)

A4判：82ページ

価格：700円（送料別，2部までは390円）

申込先：〒540 大阪市中央区大手前4-1-76

大阪管区気象台内日本気象学会関西支部

FAX：06-944-2121

郵便振替：00980-5-18318

日本気象学会関西支部

申込と送金方法：郵便または FAX で申し込み願います。テキスト送付時に，請求金額を記入した郵便振替用紙を同封します。